

指定管理者選定評価委員会評点集計表

1 入館者がより快適に過ごせるための運営上の工夫があること。

審査項目	配点 (評点×係数)	申請 団体①	申請 団体②
(1) サービスの維持・向上	10 (5×2)	7.6	8
(2) 安全対策、危機管理	10 (5×2)	6.8	7.2
(3) 施設の貸出	5 (5×1)	4	3.4
(4) 施設・レストランススペースの活用	5 (5×1)	3	4
小計 (A)	30	21.4	22.6

2 施設の管理を安定して実施することができる物的・人的能力を有していること。

審査項目	配点 (評点×係数)	申請 団体①	申請 団体②
(1) 管理運営の理念、方針	10 (5×2)	7.2	8.8
(2) 施設維持管理	10 (5×2)	7.2	7.2
(3) 組織体制、労務管理	10 (5×2)	6	7.2
(4) 法令遵守・情報セキュリティ・個人情報保護・情報公開	5 (5×1)	3.4	3.4
小計 (B)	35	23.8	26.6

3 施設の効用を最大限に発揮し、管理面での費用対効果を図るものであること。

審査項目	配点 (評点×係数)	申請 団体①	申請 団体②
(1) 収支計画	15 (5×3)	9	10.8
(2) 広報	5 (5×1)	3.4	4.4
(3) 地域連携・地域貢献・地域満足度	10 (5×2)	5.6	8.4
(4) 財務状況	5 (5×1)	3.4	3.6
小計 (C)	35	21.4	27.2

4 市民の文化の向上及び福祉の増進を図るための自主事業のプランを用意していること。

審査項目	配点 (評点×係数)	申請 団体①	申請 団体②
(1) 文化芸術振興事業（自主事業）の実施方針	15 (5×3)	10.2	12.6
(2) 文化振興事業（自主事業）・賑わいづくりの促進	10 (5×2)	6.8	7.2
(3) 文化芸術振興事業（自主事業）の実施能力	10 (5×2)	7.6	7.6
小計 (C)	35	24.6	27.4

5 合計点数 (A + B + C + D)

合計点数	配点	申請 団体①	申請 団体②
	135	91.2	103.8

※1から4における申請番号①・②の点数は、指定管理者選定評価委員会の委員（5名）の平均点（小数点以下第2位を四捨五入）を示している。

6 選定に係る総括

全委員の評点の平均点を基に総合的に判断した結果、指定管理者候補者を申請団体②に、指定管理者候補者の次点者を申請団体①に選定した。

なお、この審査・選定に当たり、それぞれの申請者に対する意見としては次のとおりである。

【申請団体①】

全国各地の公共文化施設で指定管理者としての豊富な運営実績を有しており、蓄積された確かなノウハウに基づく安定した収支計画や施設管理能力が高く評価された。

文化芸術振興事業の実施方針においては、多様な知見と充実した運営基盤を活かした利用者のサービスの向上、質の高い自主事業に注力する姿勢や、単館の管理にとどまらず周辺エリアを含めた広域的な視点での運営方針が示された。

また、地域貢献の具体策として、施設運営に係る物品等の調達やスタッフの雇用を市内から優先的に行う方針が示された。

さらに、市外から市内へ人を呼び込むことで2万人の集客目標を達成し、その経済波及効果をもって地域へ貢献するというスケールの大きなビジョンが示され、指定管理者としての高い実力と意欲がうかがえた。

【申請団体②】

地元企業3社によるコンソーシアム（共同企業体）という運営体制のもと、地元との連携に基づく強固なネットワークを活かし、地域の方々と共に文化会館を作り上げていくという「未来共創事業」の姿勢が特筆すべき点として高く評価された。

また、収支計画の達成に向け、発行部数100万部を超える自社媒体を活用した強力な広域広報により集客を図るとともに、文化芸術振興事業においても、市民が気軽に参加できる事業と、大規模事業とで広報戦略を明確に分けて展開するきめ細やかなアプローチが示された。

さらに、地域密着型コンソーシアムとしての新しい価値創造として、文化会館を核として周辺地域の店舗（飲食店等）への回遊性を創出し、地域活性化を図るという具体的な提案があった。